

週刊大貫のり夫 市政ファイル No.525

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2016年5月25日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



介護予防・日常生活支援総合事業

資格持たないヘルパーで安上がりの介護制度に

5月17日から開催中の2016年第2回横浜市議会で20日、議案関連質問が行われ、白井まさ子議員が日本共産党を代表して、質問しました。



介護費用の削減が目的
市町村が主体となって行う新しい介護予防・日常生活支援総合事業が2015年度から始まりました。要支援1・2へのヘルパーとデイサービスの給付は新総合事業に移行され、サービス内容や価格、利用者負担を市の裁量で決めるようになります。介護認定にいたらない高齢者を増やして介護費用を減らし、総合事業の事業費も75歳人口の伸び率の範囲内に納めるよう上限が設定されます。

横浜市では今年10月から、ホームヘルパー資格のない人による要支援1・2への訪問サービスがスタートします。（2面に続く）

無料法律相談

6/2・16(木)

予約制（大貫）
090-5311-1879

資格を持ったヘルパーの観察力が必要

(1面より続く) 白井議員は、ヘルパーの資格のない人も掃除・洗濯・調理などはできるが、「そこには専門的な観察力の不足は否めない」と指摘。資格のあるホームヘルパーは病気や認知症の発見につながる専門的な観察力を持っており、生活援助によって利用者が要介護にならないようにできたケースが多々あると述べました。そして、「市が利用者の希望や包括支援センターの判断を、コスト優先で、緩和基準によるサービスに誘導するようなことがあって、不本意なサービスしか受けられないという制約が出てくれば、サービスの質の低下となる」と懸念を示し、



議案関連質問を行う白井まさ子議員＝5月20日、横浜市本会議場

市長の認識を問いました。

林文字子市長は、訪問型援助サービスは利用者本人と相談の上で資格を持ったヘルパーにするかどうかを決めるものであり、従事者には介護事業所による一定の研修等で必要な知識・技術等を身につけていただくのでサービスの質を確保できる、人材不足に対応するためにも本サービスの導入で介護人材の裾野を広げる必要があると答えました。

要介護認定から締め出す水際作戦か

新総合事業では、医師による要介護認定を省略し、25項目の簡易な質問項目による基本チェックリストで対象者を判定できるようになります。

白井議員は、本来「要介護」に該当するはずの人まで認定から締め出されるリスクが指摘されているとして、「介護保険サービス利用申請者を窓口で要介護認定から締め出す新たな『水際作戦』ではないかとの市民の不安を解消する

ために、基本チェックリストは認定を希望しない場合のみの限定的な実施とすべき」として、市長の見解を求めました。

林市長は、本年1月から試行実施しているが、制度について丁寧に説明して、訪問介護、通所介護や一般介護予防事業など総合事業のみを利用することが想定される方などに案内し、要介護認定希望者には認定申請をさせていると答えました。

シリーズ『あおば子育て事情』(190)

届け！子どもたちへ

江口 寛



平和行進が終わり、さわやかな朝を迎えました。ユーコープ桜台店、荏田店のみなさんのお出迎えは年々あつくなり、疲れも吹き飛びました。

もう一つ、下校中の小学生の反応に感動しました。3・4年前は恥ずかしそうに小さく手を振ってくれる子がチラホラでしたが、今年は大きく手を振ってくれる、走り寄ってくれる子が目立ちました。子どもたちの変化は世相の反映です。大きな変化の前ぶれかも知れません。

行進参加者からは、「どういう理由で広島に向けて歩いているのか？」を、特に子どもたちに、もっとアピールしたら…」という提案もいただきました。

そこでこんな呼びかけを考えてみました。小学生のみなさん、私たちは「戦争をなくそう！核兵器をなくそう！」と呼びかけて、8月の広島、長崎までリレーで歩く「平和行進」です。

71年前の8月6日と9日に、アメリカが投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎の町を破壊し、20万人以上の命を奪い、何十万人もの人びとを傷つけました。真っ黒に丸焦げになったり、皮膚がずるむけになった体、無言で歩きつづける人びと、全く生き地獄そのものだったと言われています。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、あなたたち若い人たちが二度と生き地獄を体験しないように、今日も必死に署名を呼び掛けています。



ラディッシュ収穫！

先日早朝、ベランダのプランターで育てていたラディッシュを収穫（大げさかな？）しました。





今年はベランダ菜園に挑戦中です。この忙しい時と言われるそうですが、ストレスが多い時代、この収穫の瞬間は最高のリフレッシュタイム。綺麗でおいしい自家製ピクルスを食べるこれ、またリフレッシュタイム。いいことづくめです。

5兆円突破の軍事費 国民の暮らし・福祉に

新早期警戒機 (E2D)	1機	260億円
イージス艦の建造 	1隻	1734億円
潜水艦の建造	1隻	636億円
戦闘機F35 	6機	1084億円
垂直離着陸機 オスプレイ 	4機	447億円

辺野古新基地建設 予算 (2016年度)	595億円
----------------------	-------

在日米軍のための 「思いやり予算」	1920億円
-------------------	--------

認可保育所 (定員90人) 増設100カ所	約120億円 (国費負担)
待機児解消 9000人分	
保育士の1人あたり給与平均月額5万円引き上げ (野党5党の法案)	約2800億円 
給付奨学金の創設 (日本共産党の提案)	約2500億円 
中小企業予算 (2016年度予算)	1825億円 

軍事費が4年連続で増加し、2016年度で初めて5兆円を突破し、5兆541億円に達しました。

オスプレイ1機で約100の保育所の設置が可能です。在日米軍への「思いやり予算」は、中小企業予算よりも約100億円多い1920

億円などなど。

予算は政治の鏡です。国民の暮らしを支える社会保障や教育、中小企業などよりも軍事費を優先する安倍自公政権は、一刻も早く退陣させなくてはなりません。そのためにも参院選がんばります。



メダカの独り言 メダカが産卵した！
 …と思ったら貝？
 メダカの水槽の水草に卵が付いていた。隔離して生まれてくるのを楽しみに待っていたら、出てきたのは稚魚じゃなくて稚貝だった。サカマキ貝という雌雄同体のタフなやつ。なんか残念。(K)